宇都中だより4月号

宇都の風

校訓　向学　強健　友愛
愛され　応援される　宇都中学校

有り難う　-ARIGATOO-

宇都中学校長　池田　修

日曜日の朝、NHKの番組に心がほっこりし元気をもらった。番組名は「Dearにっぽん」テーマは「元気になる本屋～広島過疎の町 ‘小さな約束‘」、過疎の進むとある街の本屋さんを舞台にそこに勤める社員にスポットをあてて番組は展開された。経営が困難ななかにも笑顔を絶やさず接客する社長や社員のひたむきな姿に感動した。特に印象に残ったのは、17歳の早風さんという青年だった。

中学時は引きこもりで人との会話や社交の場を敬遠してきた早風さん。親戚に紹介され本屋さんで働くことになった。入社当初、表情がかたく、接客もままならない状態は、画面からも見て取れた。社長や社員は、ことあるごとに声をかけ業務の数々を丁寧にそして根気強く教えていた。番組の終末では、会計時に、たくさんの本を重そうに抱えている高齢の方に、自ら声をかけ接客する彼の姿があった。

早風さんが、心を開き仕事に自信をもてたのはなぜか？改めて考えるに、「一日一日できたことの積み重ね」「社長や社員からの労いの言葉『**ありがとう**』や賞賛」ではないか。「人の役に立てているような気がする」朗らかできらり輝く表情の早風さんがそこにいた。

創立80周年を迎えた宇都中学校。生徒153名、教職員24名で令和8年度をスタートしました。

耳を澄ませば、お互いを思いやる「優しい言葉」が飛び交っています。生徒間だけでなく、教職員間でも「○○先生、ありがとうございました」のあたたかな言葉をよく耳にします。「**ありがとう**」の言葉の由来は漢字では「有り難う」と表します。有ることが難しい。すなわち、存在が稀、奇跡ということであり、日常的に使われているけれど、とても素敵な言葉なのです。

年度初めの栄えある学校だよりに皆さんにぜひとも伝えたく綴ってみました。

保護者・地域の皆さまには、日頃より子供たちのために、かげにひなたにサポートしていただき「**ありがとう**ございます」
令和8年度も何卒よろしくお願いいたします。

点検時にいたカエルさん

第80周年記念入学式

9日(木)、入学式を挙行しました。

小雨が降る中、保護者・来賓、在校生・教職員に見守られながら入学式が挙行されました。4つの小学校から入学してきた61名の新入生たち。緊張しながらもはつらつとした姿で入場しました。呼名の場面では、式場に響く一人一人の返事に頼もしさを感じました。「初志貫徹」この言葉は、生徒会のスローガンです。決意や気持ちを大切にしながら、仲間とともに素敵な学校生活を過ごしてほしいと思います。準備片付け、歓迎の言葉など在校生の皆さんに感謝です!!

交通安全教室・自転車点検

17日(金)、無事故を祈りながら …。

令和６年３月７日警察庁交通局

現在、生徒の約60%が自転車通学をしています。交番の方を迎えて、自転車の乗り方やルールやマナーについて学びました。4月よりはじまった「青切符」もふまえてわかりやすく説明をしてくださいました。後半は、自転車点検を行いました。

尊い命が失われる交通事故。通学者も普段使いをしている人も、徒歩通学の人も含め、無事故であることを切に願います。

しぶしの日

ふるさと志布志をそして「志」を特別に想う日に…。

調べてみると「しぶしの日は、鹿児島県志布志市の名前にちなみ、4 月 24 日を「し(4)ぶ(2)し(4)」と読む語呂合わせから親しまれている記念日」とありました。
志布志の志(こころざし)とは、
○　心に決めて目指すこと
○　他人のため世の中のために尽くそうとすること
〈郷土読み物資料集より〉です。毎月24日特別な日に。

志布志市章

5 MAY

2日～6日　長期休み

7日(木)　3年第1回実力テスト(～8日)
8日(金)　1年心臓検診、第2回PTA執行部会
12日(火)　避難訓練
13日(水)　授業参観、第1回 PTA 総会
　　学年・学級 PTA
14日(木)　歯科検診(1年、2年1組)
15日(金)　歯科検診(2年2組、3年)

16日(土)　青少年育成の日
17日(日)　家庭の日(原田・山重小運動会)

18日(月)　耳鼻科検診
21日(木)　生徒総会、尿検査2次(～22)

23日(土)　家庭読書の日

25日(月)　小中合同研修会⑤⑥
26日(火)　学校運営協議会
27日(水)　3年上級学校説明会(～28)

雨降りが多い季節
傘をささない生徒たち
風邪ひきさん
心配です。

転入職員紹介

池田　修	校長	
池上　彩	国語	3年1組担任
江幡　優大	保健体育	2年1組担任
近藤　開土	社会	1年2組担任
福森　遼太	数学　あかしあ学級担任	
安東　楓	養護教諭	
下松八重　修二	事務職員	
西　正義	学校助手	

〈後記〉 あれは三者相談の期間中の、とある日のこと。宇都鼻(うとのはな)先の横断歩道で、自転車通学の生徒が横断しようとしていました。一台の軽トラック方が停車したので、その生徒は横断するのかと思いきや、横断することなく、違う方向に走り去っていったのです。停まった方にお礼もせずに…。あなたが運転手だったらどんな気持ちになるだろうか？遠目から見ていて、なんだかさみしい気持ちになりました。道路交通法第38条に横断歩道は「歩行者絶対優先」とありますが、それでも道を譲っていただいた感謝の「有り難う」を忘れずに行動にうつしてほしい、そう思うのです。